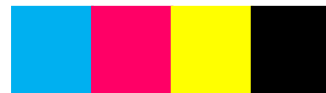


プリントネット株式会社 2022年8月期第1四半期 決算補足説明資料

証券コード:7805



2022年1月14日

1 2022年8月期第1四半期 決算概要

2022年8月期第1四半期 損益計算書（前年比較）

（単位：百万円、％）

	2022年8月期第1四半期			主な増減要因
	実績	前年実績	増減率	
売上高	2,232	2,142	—	大口得意先以外印刷売上高 1,318百万円 大口得意先印刷売上高 901百万円
売上原価	1,722	1,718	—	
売上総利益	509	424	—	
販売費及び一般管理費	406	395	—	
営業利益	103	28	—	
経常利益	122	19	—	
四半期純利益	105	9	—	

※決算期変更に伴い、2021年8月期第1四半期（2020年11月1日から2021年1月31日）と2022年8月期第1四半期（2021年9月1日から2021年11月30日）は期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2021年8月期第1四半期決算と2022年8月期第1四半期決算の営業利益の差について

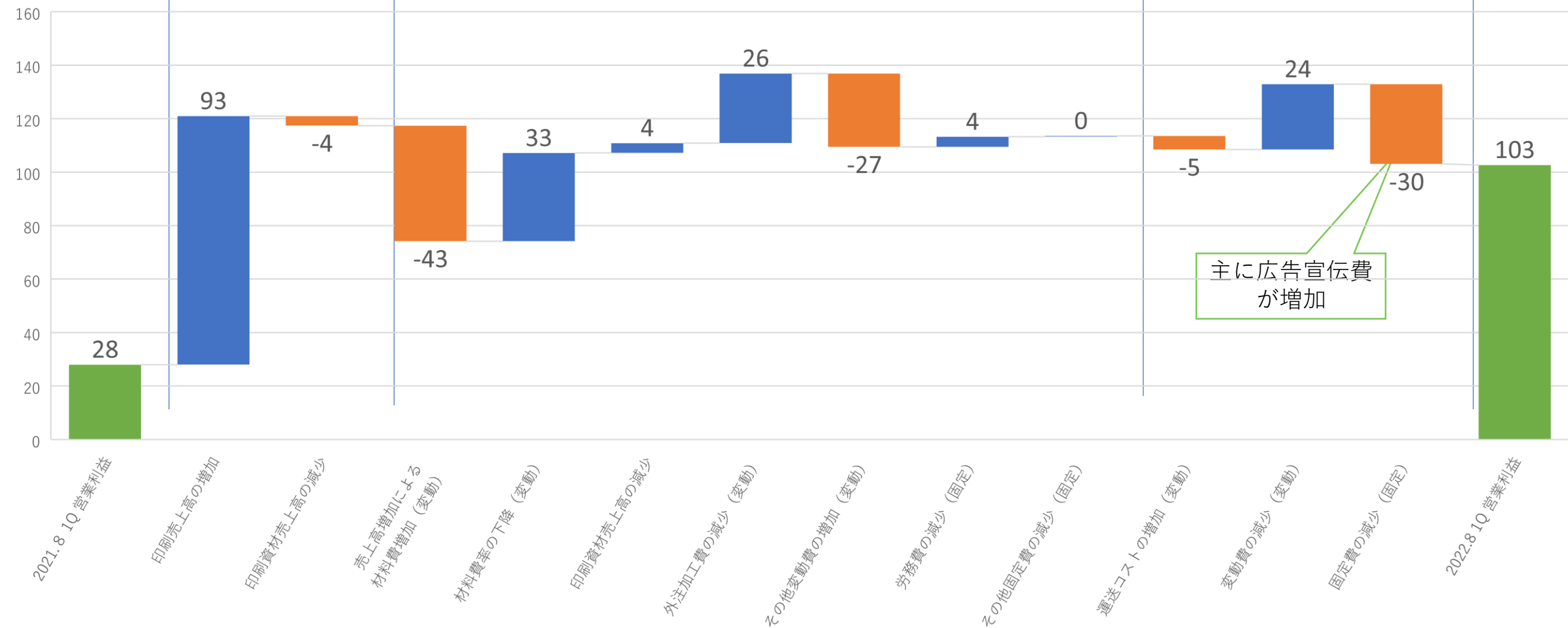
(単位:百万円)

売上高

製造原価

販管費

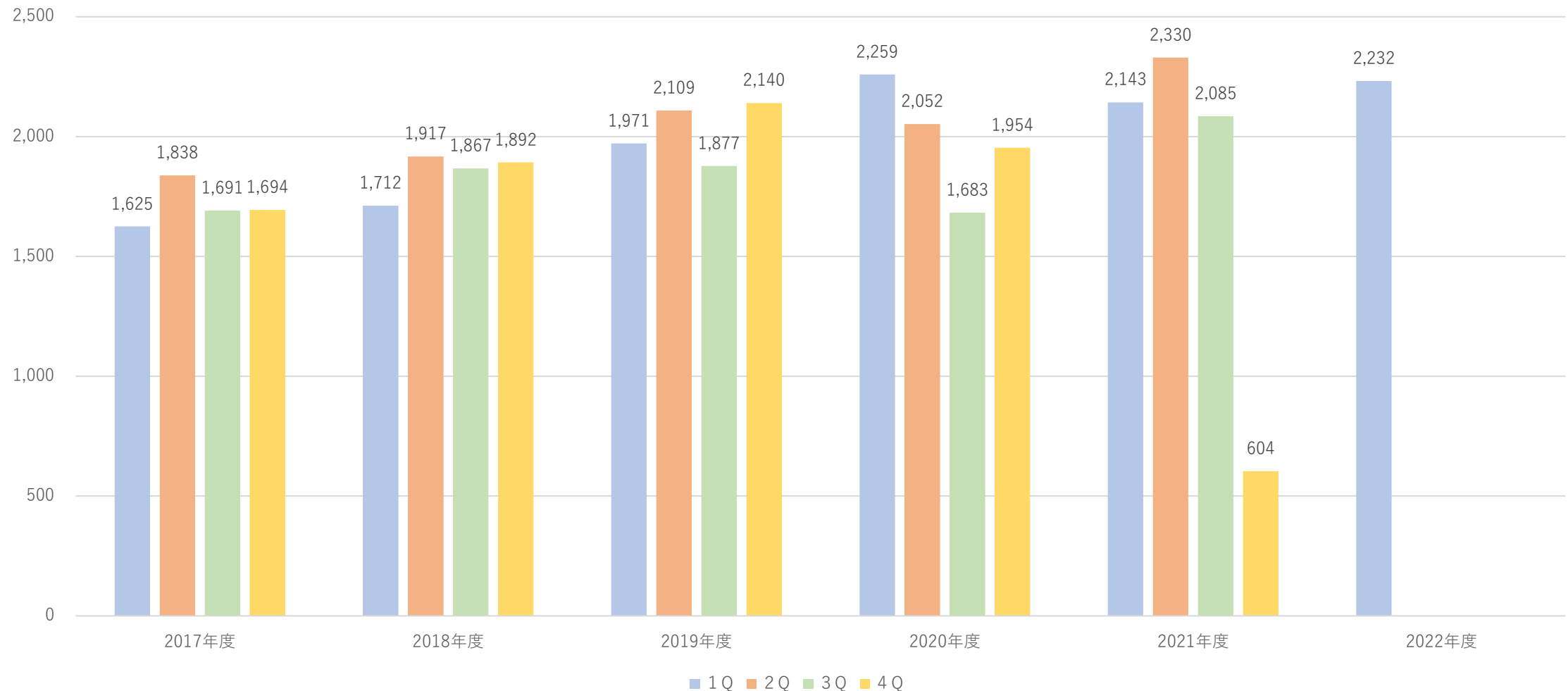
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



各四半期ごとの売上高推移

(単位:百万円)

2021年8月期に決算期変更を行ったことに伴い、2022年8月期第1四半期より集計期間が異なっております。



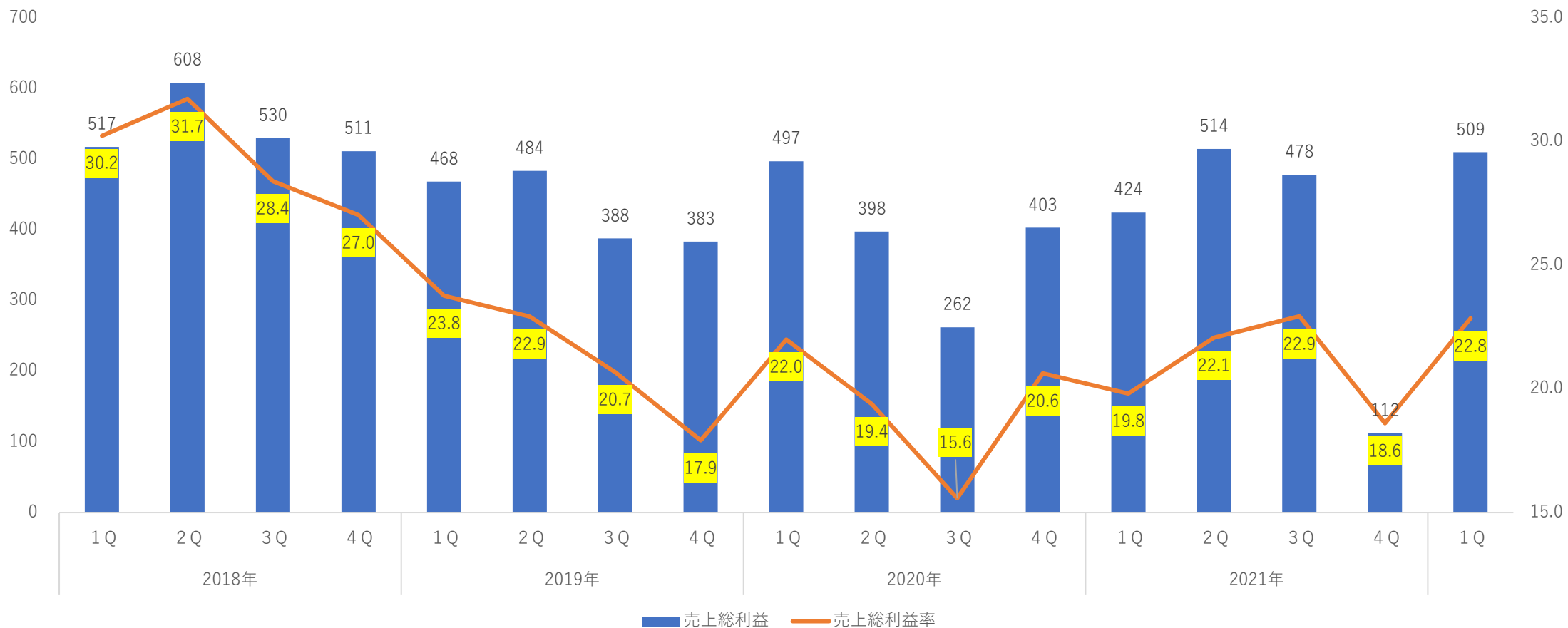
※ 2017年10月期決算、2018年10月期第1四半期及び第2四半期決算については、監査法人の監査を受けておりません。

各四半期ごとの売上総利益、売上総利益率 推移

2021年8月期に決算期変更を行ったことに伴い、2022年8月期第1四半期より集計期間が異なっております。

(単位:百万円)

(単位:%)

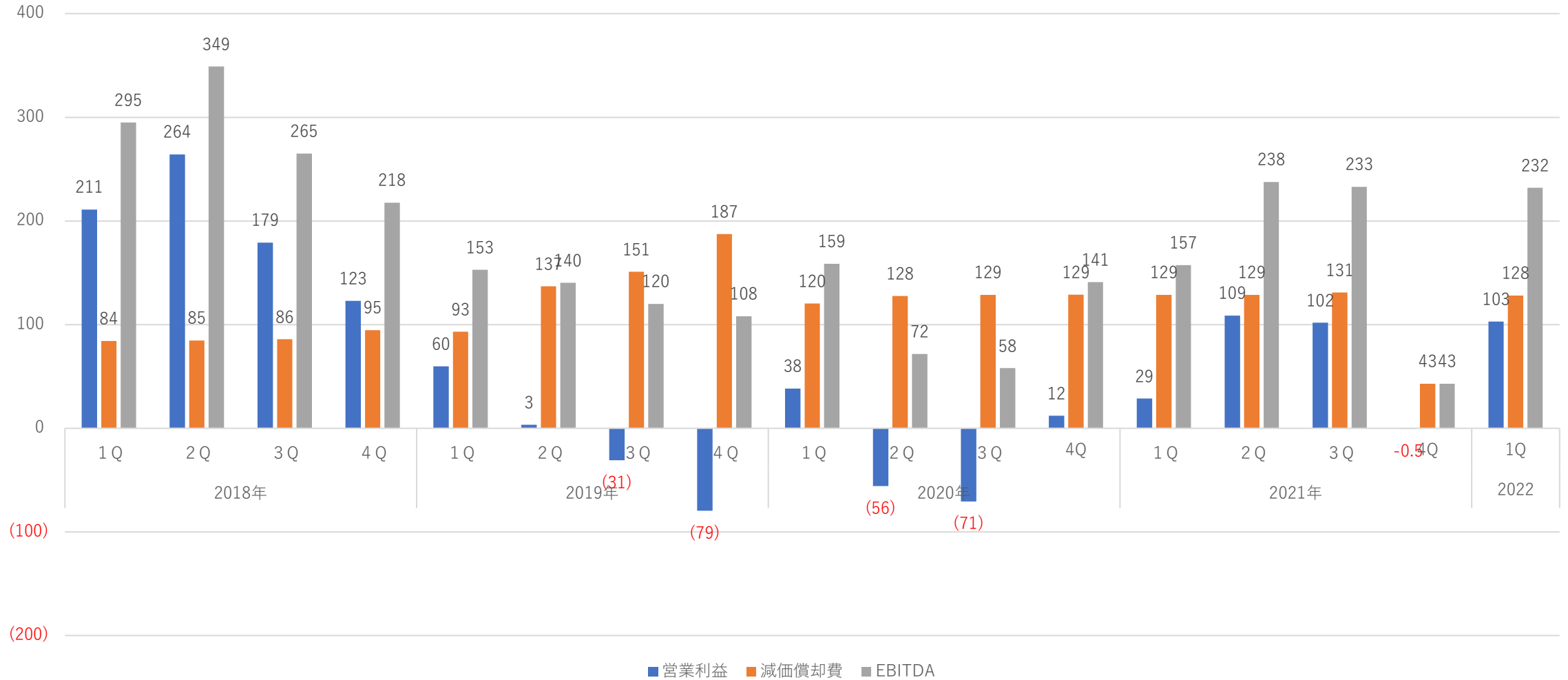


※ 2018年10月期第1四半期及び第2四半期決算については、監査法人の監査を受けておりません。

各四半期ごとのEBITDA推移

(単位:百万円)

2021年8月期に決算期変更を行ったことに伴い、2022年8月期第1四半期より集計期間が異なっております。



※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※ 2018年10月期第1四半期及び第2四半期決算については、監査法人の監査を受けておりません。

2

2022年8月期業績予想について

2022年8月期業績予想について

2021年8月期は、決算期の変更を行ったことにより、10ヶ月を対象とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

(単位:百万円)

	2022年8月期 第2四半期予想	増減率	2022年8月期 通期予想	増減率
売上高	4,330	—	8,800	—
営業利益	142	—	271	—
経常利益	162	—	294	—
当期利益	127	—	206	—
1株当たり 当期純利益	25円69銭	—	41円50銭	—

※ 2022年1月14日付で、「2022年8月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。


2 2022年8月期 期末配当
株主優待について

2022年8月期期末配当、株主優待について

2022年8月末に株式を保有いただいている方に、1株当たり10円00銭の配当を見込んでおります。

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
今期（2022年8月期）見込	—	0.00円	—	10.00円	10.00円
（ご参考）前期実績 （2021年8月期）	—	0.00円	—	10.00円	10.00円

	優待内容
100株以上	当社サービス利用ポイント 2000円相当分
200株以上	当社サービス利用ポイント 4,000円相当分
500株以上	当社サービス利用ポイント 6,000円相当分
1,000株以上	当社サービス利用ポイント 6,000円相当分 + 鹿児島県名産品



3 Q & A

Q & A

<p>Q1 新型コロナウイルス感染症の影響を 今期どのように見込んでいるか？</p>	<p>A1 第1四半期会計期間において、売上高は2,232百万円の売上となりました。</p> <p>今後の業績につきましては、2022年1月14日付で開示しておりますとおり、第2四半期累計期間においては、業績予想の修正を行っております。</p> <p>通期業績予測は、現在新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であることから、据置いておりますが、今後修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。</p>
<p>Q2 今期の材料費はどうなっていくか？ また価格転嫁についてはどう考えているか？</p>	<p>A2 前期の材料費率は、対印刷売上高比45.3%でした。今期の材料費率は、0.6%増の対印刷売上高比45.9%を見込んでおり、若干の比率上昇を見込んでおります。</p> <p>価格転嫁については、競合の価格動向を見極めて、必要に応じて実施する方針です。</p> <p>尚、一部商品は価格を随時見直ししておりますが、ユーザーへの負担を考慮すると、全面的に価格改定することは難しいと認識しております。</p>
<p>Q3 第1四半期の広告宣伝活動は？</p>	<p>A3 第1四半期の広告宣伝費については、オフライン広告をテスト的に一部地域で実施し、前第1四半期累計期間と比べて約20百万円増加しております。</p> <p>今期の方針としては、従来通り、オンライン広告を中心として、CPAを維持したまま、ROASの向上を目論んでおります。</p>

本資料は、当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

当社は、本資料に含まれる情報または意見の公平性、正確性、完全性または正当性について、明示的または黙示的に表明または保証をするものではありませんので、これらに依拠することのないようお願いします。本資料の使用または内容等に関して生じたいかなる損害についても当社は一切の責任を負いません。また、本資料の内容は事前の通知なく大幅に変更されることがあります。

本資料は、本資料の作成時点における業界、市場動向または経済情勢等に基づき作成されたものであり、その後発生する事象に基づき影響を受ける可能性があります。当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務を有していません。

本資料には、当社の現在の見通し、予想、目標、計画などを含む将来に関する見通しが含まれています。このような将来に関する見通しは、経営陣による将来の業績の保証を表すものではありません。これらの見通しは、将来の予想を議論し、戦略を特定し、経営成績または当社の財務状態の予測を含み、または当社の事業および業界、将来の事業戦略ならびに将来において当社が営業を行う環境に関する当社の現在における予想、想定、見積もりおよび予測に基づくその他の将来に関する情報を記載するものです。既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因により、当社の実際の業績は、将来に関する見通しに記載されまたは示唆されるものとは大幅に異なる可能性があります。当社は、これらの将来に関する見通しに記載される予想が正確なものであることを保証することはできません。実際の業績は予想とは大幅に異なる可能性があります。